

台風、豪雨のつめ跡

台風9号、9月16日から18日の豪雨



北上川の増水により冠水した県道相川・平泉線の高館橋 開田碑間【9月16日から18日にかけての豪雨】

強い勢力を保ちながら北上し、9月7日に県内を終日風雨に見舞った台風9号は、当町の農作物、河川、道路などに大きな被害を与えました。

冠水などにより水稲が53[㍉]、豆類が15[㍉]被害を受け、リンゴの落果や倒木が0・3[㍉]となるなど、各地区の農家が被害を受けました。河川、道路のり面が崩壊するなど、公共土木施設への打撃も大きいものでした。

秋雨前線が活発化した9月17日には、県内で大雨が降ったため、北上川をはじめとする町内の河川が増水を続けました。

水位の上昇に伴い、県道相川平泉線の高館橋 開田碑間が冠水するなど、町内の道路12カ所が通行止めとなりました。農作物では水稲が314[㍉]、豆類が24[㍉]冠水するなどの被害を受けました。

北上川の水位は18日16時過ぎにピークに達し、一関市の狐禅寺で12・18[㍉](避難判断水位12・60[㍉])を記録しました。

「グラッ」ときたら、まず身の安全を！

「緊急地震速報」が10月からスタートします

「緊急地震速報」とは、気象庁が地震による強い揺れ(震度4以上)を事前にお知らせする情報で、テレビ、ラジオなどを通じて提供されます。

緊急地震速報で「岩手県平泉町」の名前を見聞きしたら、その数秒から数十秒後には強い揺れが襲ってくる可能性が高いということです。

速報後、強い揺れが起こるまでの短い間に「周囲の

状況に応じて、慌てず、まず身の安全を確保する」ことが必要です。

また、大地震はいつ襲ってくるかわかりません。緊急地震速報で得られた時間を有効に使い、少しでも被害を抑えられるよう、日ごろからどのように行動すれば良いかを自ら考えることや、家具を固定するなどの地震対策が重要となります。

◎家庭にいる場合

- ▷頭を保護し、大きな家具から離れ、丈夫な机の下などに隠れる。
- ▷慌てて外へ飛び出さない。



◎屋外にいる場合

- ▷ブロック塀の倒壊などに注意し、そこから離れる。
- ▷ビルのそばは、ガラスなどの落下の恐れがあるので離れる。



◎デパートなどの施設にいる場合

- ▷頭を保護し、揺れに備えて身構える。
- ▷従業員の指示に従う。



◎乗り物で移動中

- ▷車の運転中は、慌ててブレーキを踏まずハザードランプを点灯し、緩やかにスピードを落とし、道路状況を確認して左側に停車させる。
- ▷電車・バスの乗車中は、つり革、手すりなどにつかまる。



まず身の安全を確保しましょう



平泉町第10区自主防災会の結成総会



平泉町第7民区自主防災会の設立総会

7区、10区が自主防災会立ち上げ

力合わせて災害防

町内で9月中、2つの行政区で自主防災会が立ち上げられました。

7区住民による「平泉町第7民区自主防災会」の設立総会は9月9日、7区公民館で開かれました。住民と消防関係者ら約30人が出席。会長に結成準備委員会長を務めた小野寺証志さんを選出し、同準備委員会が作成した規約や活動計画、予算などを原案通り可決しました。

10区住民による「平泉町第10区自主防災会」の結成総会は9月23日、祇園公民館で開かれました。住民と消防関係者ら約40人が出席。会長に結成準備委員会長を務めた菅原勝夫さんを選出し、同準備委員会が作成した規約や組織図、活動計画、予算などを原案通り可決しました。

町内での同組織結成は、今回の7区、10区を合わせて8つとなりました。



▶崩壊した水田のり面(台風9号)



▶水位を増す小金沢川(台風9号)

台風9号による被害状況

9月26日現在(町災害警戒本部調べ)

被害項目	被害内容	被害金額	
公共土木施設	河川	7カ所	43,000千円
	道路	9カ所	53,000千円
農作物	水稲	53ha	2,400千円
	大豆	15ha	3,000千円
	りんご	0.3ha	1,500千円
	牧草	17ha	2,000千円
被害総額		104,900千円	

9月16日から18日に被害状況

9月26日現在(町災害警戒本部調べ)

被害項目	被害内容	被害金額	
農作物	水稲	314ha	14,400千円
	大豆	24ha	4,800千円
	牧草	17ha	2,000千円
被害総額		21,200千円	